

## 資料①

子供たちの集団での活動が円滑に行われるための、  
教師の働きかけについて考えましょう。

1. 事例提供者を決める。

2. 学級（HR）集団の状況や、集団での活動の際の苦労した（している）ことを紹介する。

3. 事例提供者のエピソードだけでは分からなかったことを質問し、よりの確に実態を捉える。

4. 集団の実態に即した「居場所づくり」「絆づくり」の働きかけを話し合う。

メモ

児童生徒が安心でき、自己存在感や充実感を感じられる居場所を、教職員がつくる

「居場所づくり」の働きかけ

- 
- 

主体的に取り組む協同的な活動を通して、児童生徒自らが絆をつくる

「絆づくり」の働きかけ

- 
-

自分の学級（HR）等で、集団での活動が円滑に行われるための働きかけについて考えましょう。

【ポイント】 集団の実態に即した働きかけになっているか

「居場所づくり」

児童生徒が安心でき、自己存在感や充実感を感じられる居場所を、教職員がつくる

「絆づくり」

主体的に取り組む協同的な活動を通して、児童生徒自らが絆をつくる

「居場所づくり」の働きかけ

- 
- 

「絆づくり」の働きかけ

- 
-

チャレンジ!



©岡山県「ももち」

「居場所づくり」として

に

「絆づくり」として

に

取り組みます。